

# THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



## WEEKLY

# なごや ちくさ

題字 黒野清宇

名古屋千種ロータリークラブ  
 承認 1982年 8月24日  
 例会日 火曜日 12:30  
 毎月最終例会 18:00  
 例会場 愛知厚生年金会館  
 事務局 TEL763-5110 FAX763-5121  
 会長 和田正敏  
 幹事 田部井良和  
 会報・雑誌委員長 宮尾紘司

No.19

## ロータリー2000：活動は一堅実、信望、持続

### ROTARY 2000：ACT WITH CONSISTENCY, CREDIBILITY, CONTINUITY

1999～2000年度 RI会長 カルロ・ラビッツァ

### きょうの例会

第830回 平成11年12月7日(火)

講演 “震災から学ぶ事”  
 同朋大学 教務課 栗田 暢之氏  
 (紹介 大口君)

### 先週の記録

第829回 平成11年11月30日(火) 晴

#### ◆“我等の生業”

#### ◆出席報告

会員	70 (67) 名	出席	48名
出席率	71.64%		
前々回	11月9日	(修正出席率)	98.51%

#### ◆ゲスト紹介

千種警察署	署長	安藤 秀範氏
千種消防署	副署長	西山 容弘氏
千種区社会福祉協議会	事務局長	村瀬 泰彦氏
青少年交換学生	ケティ・ブロームさん	
バイオリン演奏	北垣 紀子さん	
ピアノ伴奏	脇田真紀子さん	

#### ◆12月会員誕生日

山本(英)君(12/9)、宮尾君(12/10)、深見君(12/16)、黒須さん(12/25)

### ニコボックス

秋山 茂則君 明日から師走、いよいよ迫って来ました。季節も寒いが懐も寒い今日この頃、風邪をひかないよう、お年寄りには予防接種をしましょう。

加藤 大豊君 '99名古屋シティマラソン全国より総勢13,000名参加のもと、15回目の実行委員長を無事に務めました。

水野 民也君 娘のケイトと一緒に来ました。

成田 良治君 参加者7名の淋しい会でしたがゴルフ会優勝しました。加藤大豊さん、カモの会では大変お世話になりました。

吉田 玄君 ベンチプレス100kgクリアしました。バンザイ!!

二村 聡君 伊原 正躬君 池森 由幸君 伊豫田博明君 菊池 昭元君 小杉 啓彰君 中井 常雄君 西野 英樹君 大口 弘和君 竹内 眞三君 山田 壽勝君 明日から師走、風邪をひかないよう気をつけましょう。

萩原喜代子さん 加藤 重雄君 河村 政孝君 松居 敬二君 水野 賀續君 西川 豊長君 大谷 和雄君 鷺谷 龍男君 佐久間良治君 佐野 寛君 笹野 義春君 鈴木 正男君 鈴木 理之君 田部井良和君 和田 正敏君 吉田 節美君

加藤 大豊君 カモの会では大変お世話になり、ありがとうございました。

黒須アイ子さん 宮尾 紘司君 誕生日祝い。

足立 一成君 小林 明君 三好 親君 結婚記念日祝い。

### 魚津米山委員長よりお礼挨拶

今年度の米山奨学金寄付の目標額70万を達成し、100万円の大台に乗ることが出来ましたこと、皆様方のご協力に感謝しお礼申し上げます。

### 田部井幹事報告

1. 次回例会終了後、年次総会を開催致しますので、全会員お残り下さい。その後、理事役員会を開催致します。

### 鷺谷副会長挨拶

今夜は最近の著作を通じての分析と都知事になってからのマスコミにおける対応、発言などから、石原慎太郎氏を取り上げてみたいと思います。

彼は1995年、日本の政治状況に失望し、自責の念から議員を辞めることになり、日本の正しい関係を説いた「Noと言える日本」をソニーの盛田氏との共著で出版し、日米間だけでなく国際的な大波紋を呼び起こしました。

日本と云う国のあり方、経済の仕組みも含めて、これでいいのかと云う、危機感を具体的な事例と計数的な根拠に基づいて読みやすく構成され、アメリカが日本にグローバルスタンダードと云う図式で、しかも巧妙な戦略に武装された形でやっていると書いております。もっと解りやすく申し上げれば、ソニーの非常勤取締役「中谷教授」が日経ビジネスの論文の中で日本経済が国際経済の中に、これほど深く組み込まれた以上、国際的な常識とされるグローバルスタンダードに日本の諸制度や、ものの考え方を適応させようとする「グローバルスタンダード順応派」の意見に、多くの人は肯いてしまう、と書いております。

石原は、この本の序文でこう書いています。

『座して死を待つ』と云う言葉がありますが、昨今の日本を見るとそんな実感がひしひしとして参ります。日本が依然として世界第二の経済大国であることに変わりはないが、そんな経済がつかかってきた力、言い換えれば他に増しての金と技術をもちながらも、それを発揮できぬまま、この国は衰運におもむこうとしているありさまです。その上でいったい何でこんな体(てい)たらくになってしまったか、いろいろあげつらって言う人もいるだろうが、その最大の訳は、戦後アメリカが、この日本を意識の下の下まで徹底して解体し尽くし、その結果、なにごとともアメリカへの依存と云う徹底した他力本願を植えてしまったせいだと思います。更に要約して申し上げますと、冷戦は終り、世界はもっと開かれたものになりましたが、その世界をアメリカは軍事に代わる金融の巧緻な戦略で一方向的に支配しようとしています。その足がかりにされたのが、日本であり、また、東アジアの国々なのです。アメリカが声高に指摘し、非難する日本の旧弊な制度方式の中での欠点は、当然ありはしても、それにつけ込んだアメリカの日本を含めた東アジアを、すでに、その金融奴隷として支配しようとする戦略を、私たちは、そのまま許容するわけにはいかないのです。日本の現状打開、そして蘇生への道は、自らの欠点を知って直すと云うことだけではありません。それにつけ込んでくるアメリカの露骨なやり口を矯正し、はね返すためには、まず相手の本当の意図を知ることです』と。その他「国家なる幻影」わが政治の反回想として書かれた本など、本人の政治経歴と云うか、政治信条そのものを体験記録した長文で而も率直で行間ににじみ出ている人生を感じざるを得ません。それと最近「法華経に生きる」という本を出し、自分のもっている人生哲学と云うか、彼の人間性を髣髴とさせるものが感じとれます。彼の宗教の原点が法華経にあるとは知りませんでした。

また、都知事として報道番組に出演した折、彼は徹底した都政の見直しをやって行き度いと明言し、財政再建として今迄はタブーとされた職員の賃金カットの問題、都所有の公共建物の有効利用と売却、環境汚染、

とくに都心を走るディーゼル車の排ガス量の大きさの問題、中小企業のための新たな債権市場の開発、すでに有力証券会社と話を進めているとか、或いは、過度の福祉のあり方、それにメスを入れるとか枚挙にいとまがないのであります。ところで、愛知県はどうなるのでありましょうか。

友愛の日

◆乾杯

吉田(節)直前会長

《バイオリン演奏》

バイオリン 北垣 紀子さん  
ピアノ伴奏 脇田真紀子さん



本日はこのような席にお招き頂きまして、有難うございます。皆様にお会い出来ますことを、とても楽しみにしておりました。

今日は皆様のよくご存知の曲、題名は分からなくても、よく耳にするお馴染みの曲ばかりを演奏させていただきます。

- ・ ヴィバルディ 四季の中から「春」と「冬」
- ・ ヴェートーベン メヌエット  
愛のうた
- ・ ボゼック ガボット
- ・ モーツァルト メヌエット
- ・ メンデルスゾーン 春の歌 等

クラシックファンならずとも、目の前で演奏される美しいバイオリンの音色と名曲の数々に、しばし時を忘れて酔いしれた一時となりました。

- 北垣 紀子さん：東京芸術大学院卒業後、チェコのプラハ音楽アカデミーに3年と、アメリカ、インディアナ州に半年留学後、帰国。名古屋フィルハーモニー交響楽団へ入団後、以来13年間コンサートマスターを務め、その後、愛知県立芸術大学非常勤講師、又現在は母校の菊里高校非常勤講師として後進の指導にあたっている。
- 脇田真紀子さん：菊里高校音楽科から愛知県立芸術大学に進み、現在2年に在学中。

◆次回例会(12月16日)

年末会員・家族懇親会

名古屋観光ホテルにて 18時～